# パイオニア株式会社

# 本社サイトレポート 2014

## ～環境保護活動報告書～

# 目次


| | |
|---|---|
| 1. 本社サイト概要 | p.2 |
| 2. 環境マネジメントシステム | p.3～p.4 |
| 3. 製品環境活動 | p.5 |
| 4. 事業所環境活動 | p.6～p.7 |
| 5. 2013年度 環境会計 | p.8 |
| 6. 社内環境教育、訓練 | p.9 |
| 7. コミュニケーション、社会貢献 | p.10 |


※集計範囲について

本報告書のデータ集計期間は2013年度（2013年4月～2014年3月）ですが、イベントなどはその期間に限らず、できるだけ最新の日付で開催されたものを掲載しています。

## 1. 本社サイト概要

［会社］

| | |
|---|---|
| 商号 | パイオニア株式会社<br>PIONEER CORPORATION |
| 創業 | 昭和13年(1938年) 1月1日 |
| 設立 | 昭和22年(1947年) 5月8日 |
| 資本金 | 91,731百万円<br>(2013年6月末現在) |

［本社サイト］

| | |
|---|---|
| 住所 | 〒212-0031<br>神奈川県川崎市幸区新小倉1-1<br>電話 (044)580-3211 (大代表) |
| 敷地 | 27,948 ㎡ |
| 延床面積 | 49,889 ㎡ |
| 従業員数 | 1,900名 （2014年1月現在）<br>（パイオニア株式会社本社部門のほか、関係会社及び関連団体組織を含みます） |
| 開設 | 平成19年(2007年) 4月 |

［主な事業］

車載用・家庭用・業務用製品の製造販売

- カーエレクトロニクス事業
  カーナビゲーションシステム、カーオーディオなど
- ホームエレクトロニクス事業
  BD/DVDプレーヤー、AVコンポーネント、DJ機器など
- その他事業
  有機EL、PC周辺機器など

カーナビゲーションシステム

AVコンポーネント

DJプレーヤー

パソコン用BDDライター

## 2. 環境マネジメントシステム

**環境方針**　パイオニア株式会社はグループ全体で環境方針を定めています。

**パイオニアグループ 環境保護の理念**

「パイオニアグループは、地球環境を維持、改善し、次世代に引き継ぐことが企業の使命の一つであることを深く認識し、常に豊かで安全な環境の実現に寄与するよう努めます」

この環境保護の理念に基づき、事業活動で影響を及ぼす地域のみならず、
地球規模での環境問題と関連する下記の4項目を重要と認識し、継続的に改善をします。

**1. 地球温暖化防止**

事業活動ならびに製品のライフサイクルに起因するエネルギーの使用と温室効果ガスの排出を削減する努力をします。

**2. 省資源と資源循環**

事業プロセスでの材料・水などの資源の使用を減らすとともに、資源の循環を可能な限り推進します。

**3. 化学物質の管理**

使用する化学物質の確実な管理を行ない、有害な可能性のある化学物質は継続的な削減・代替に努めます。 また化学物質の利用にあたっては汚染の予防に努めます。

**4. 生物多様性の保全**

地球上の野生生物、森林、海洋などの生態系を保全し、生物多様性を維持することが重要と考え、自然環境保護への建設的な行動をします。

環境保護活動を推進するにあたっては、次の4つの基本姿勢で臨みます。

**5. 法規制の遵守**

適用を受ける環境法規制を遵守しつつ、必要に応じて自主管理基準を定め事業活動を行ないます。

**6. 情報開示とコミュニケーション**

環境に関する情報をステークホルダーに提供し、広く社内外からの意見を尊重して、
環境活動に活かします。

**7. 環境教育**

環境保護を意識し、行動に結びつけることのできる人材を育てることを目的とした環境教育を推進します。

**8. 社会貢献**

良き企業市民として、より良い地球環境及び地域環境の実現につとめ、社会の発展に貢献します。

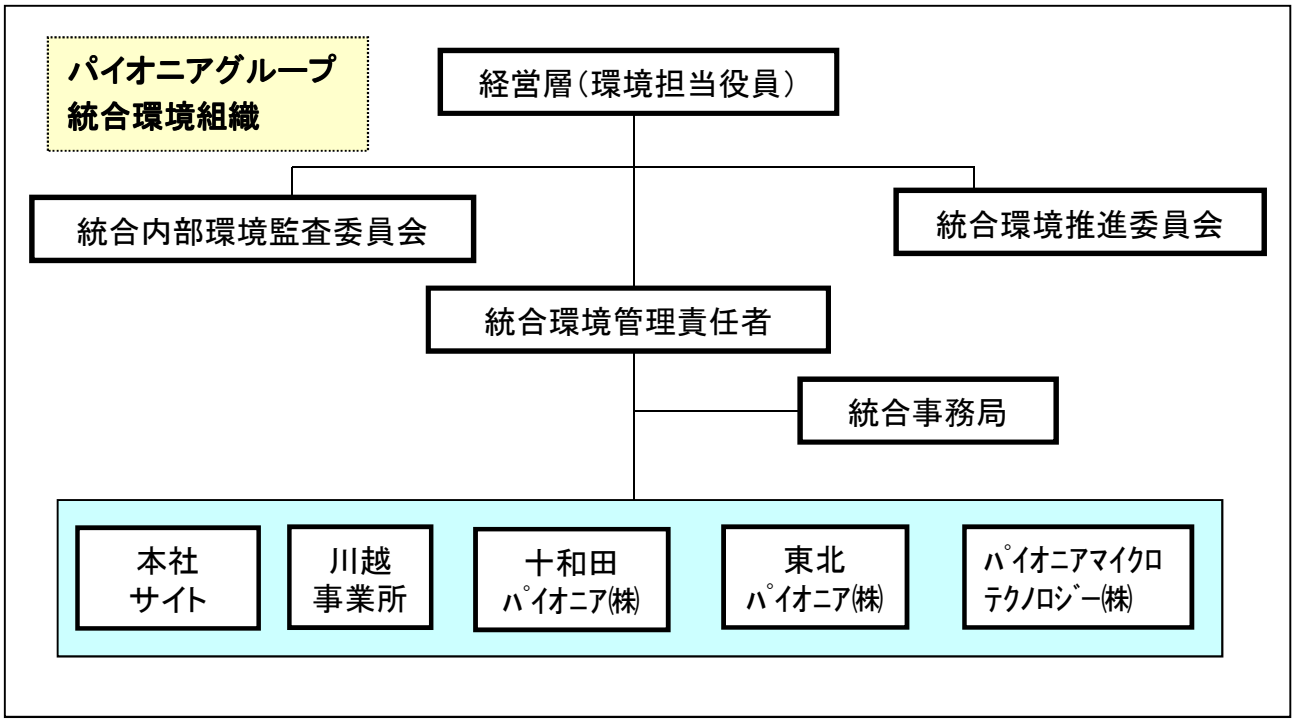
２０１４年４月１日

パイオニア株式会社　環境担当 常務執行役員　猪鼻　治行

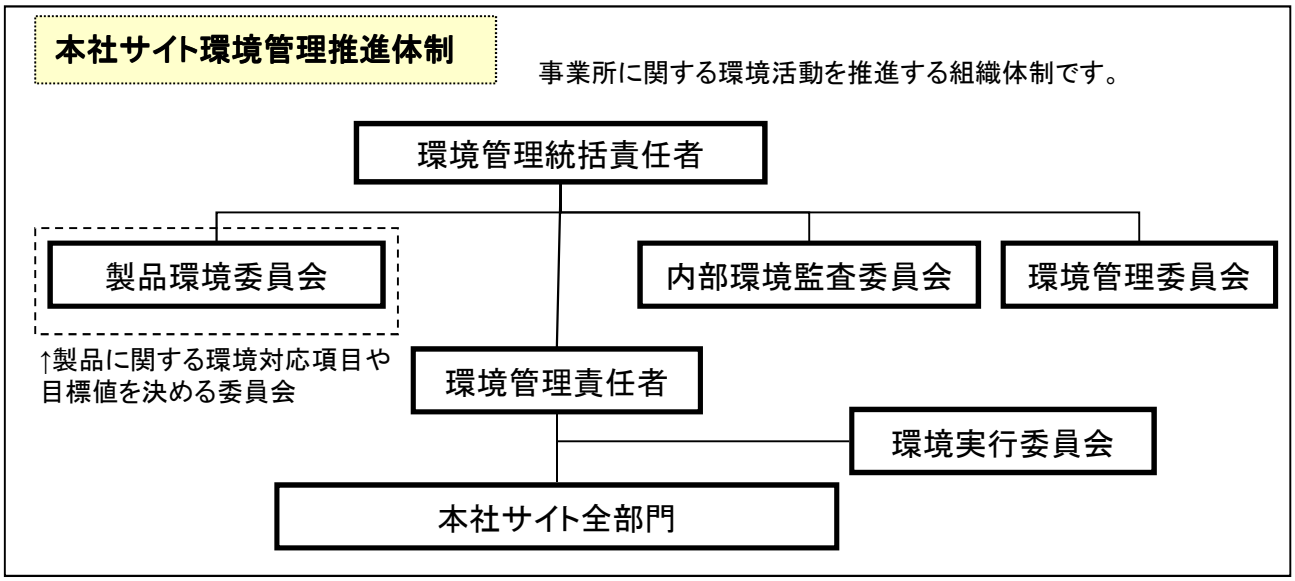
## 2. 環境マネジメントシステム　～続き～

### ISO14001国内統合認証の取得

パイオニア(株)は2007年8月に本社と各事業所のISO14001統合認証を取得しました。さらに2009年9月には国内グループ会社を含めた統合認証を取得し、パイオニアグループ全体としての環境マネジメントを強化しました。




本社サイトはこの統合環境組織の一員として、「本社サイト環境推進体制」を構築し、環境目標を定めてPDCA(Plan－Do－Check－Act)を回した活動を推進し、環境活動の継続的改善を図っています。



# 3. 製品環境保護活動

本社サイトで開発・設計しているパイオニア製品については、省エネルギーをはじめ、環境配慮設計を推進しています。またVOC（ホルムアルデヒドやトルエン等の揮発性有機化合物）削減や、ハロゲンフリーへの対応、植物由来樹脂の使用、など、最先端の環境技術にも取組んでいます。

## 製品アセスメント

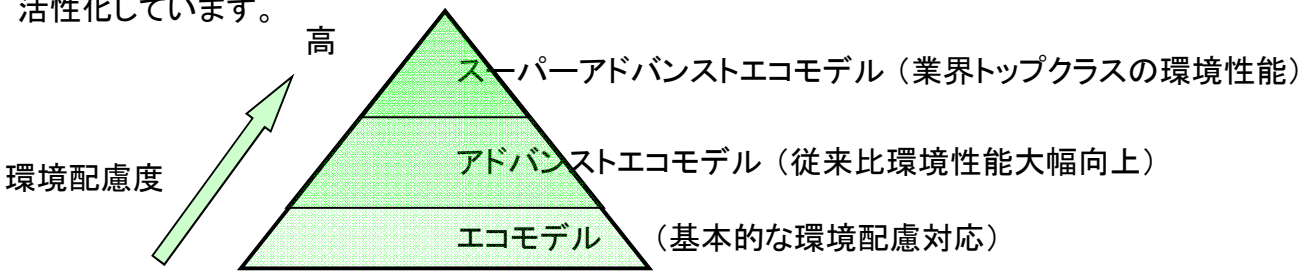
製品を開発・設計する際には、全ての機種で「製品アセスメント」を実施しています。製品アセスメントとは製品設計の各段階で環境配慮項目を設定し実施するものです。各段階では右記のようなアセスメントチェックリストにて環境配慮対応を確認しています。

アセスメントチェックリスト（一部）

- 使用禁止環境負荷物質が使われていないこと
- 重金属含有電池を使っていないこと
  また正しい表示をしていること
- 梱包材にリサイクル関連表示を正しく行なっていること
- 省エネルギー設計をしていること
- 取扱説明書等には再生紙を使用していること
- 製品のリサイクル可能率、分解時間が
  目標を達成していること

## 環境配慮製品の評価体系

またパイオニア独自で環境配慮項目を評価する制度を導入し、環境配慮製品の開発を活性化しています。




◆本社サイトで設計されたスーパーアドバンストエコモデルの例

AVアンプ
（新エコモード搭載、低消費電力、待機時消費電力0.1W、一発操作で設定できるEco機能専用ボタン搭載）

ピュアモルトスピーカーシリーズ
（再生材料使用）

◆本社サイトで設計されたアドバンストエコモデルの例

スタイリッシュCDミニコンポ
（待機時消費電力0.5 W以下
オートスタンバイ機能搭載）

DJコントローラー
（待機時消費電力0.5 W以下、オートスタンバイ機能搭載）

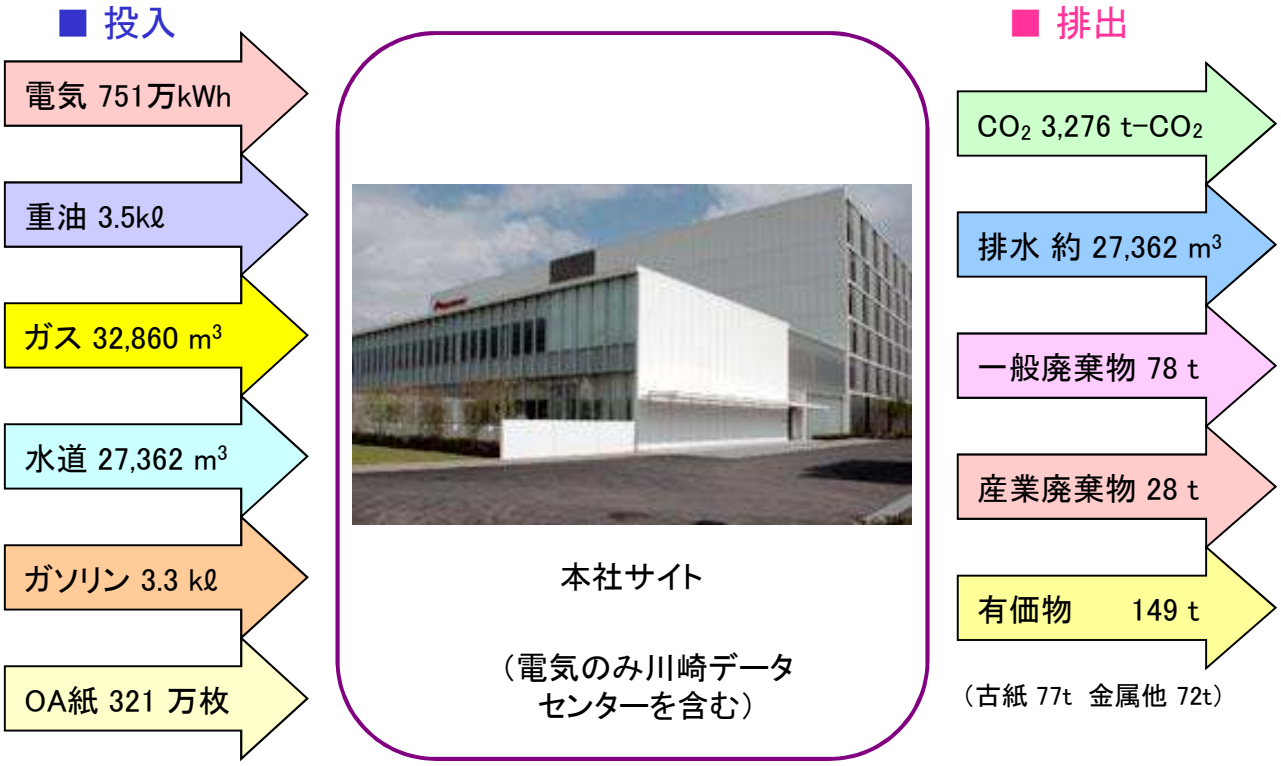
パソコン用BDDライター
（動作ピーク時の電力消費量を抑える省電力モード“PEAK POWER REDUCER”を搭載）

ブルーレイディスクプレーヤー
（オートスタンバイ機能搭載、さらに消費電力13 W / 待機時消費電力0.3W）

# 4. 事業所環境活動

## 2013年度 事業所環境負荷相関

本社サイトでは、下図のように、様々なエネルギーや資源が投入され、$CO_2$や排水、廃棄物が排出されます。




電気 ： 電力会社からの購買電力
重油 ： 非常用発電機の燃料
ガス ： 都市ガス、厨房のみで使用
水道 ： 上水道、主に厨房、洗面、トイレで使用
ガソリン ： 社有車で使用
OA紙 ： プリンタ用紙、コピー用紙

$CO_2$ ： 電気、重油、ガス、水道、ガソリンの使用に伴って発生する二酸化炭素
排水 ： 事業所からの生活系排水
一般廃棄物 ： 産廃以外、主に生ゴミ、紙ゴミ
産業廃棄物 ： 廃棄物処理法で規定されている物
有価物 ： 再資源化する物、紙類、金属類、樹脂類等

## 2013年度 事業所環境目標管理

本社サイトでは、環境目標として、電力削減・廃棄物削減に取り組み、何れも目標を達成しました。

| 課題 | 年次目標 | 実績 | 実績－目標 | 評価 |
|---|---|---|---|---|
| 電力使用量の削減 | 年間 電力使用量 807 万kWh 以下 | 751万kWh | ▲ 56 万kWh （7 % 減） | 達成 |
| 廃棄物排出量の削減 | 年間 廃棄物排出量 267 t 以下 | 258.1 t | ▲ 8.9 t （ 3 %減） | 達成 |

# 4. 事業所環境活動　～続き～

## 環境保全活動　－電力－

### 省エネ活動例

2013年度は以下のような様々な節電活動を前年に引き続き実施しました。

＜通期＞
・廊下等の照明間引き
・オフィス照明の基準内での照度低下
・昼休み、不要時の照明消灯
・自動販売機の台数削減及び機内照明消灯
・給湯器の間引き運転
・一部エレベーター完全停止
・ PCやディスプレイの省電力モード
＜夏期（COOL BIZ）＞
・空調温度設定の集中管理［室温28℃設定］
・カジュアルウェアの推奨
・ブラインドによる遮光
・自動販売機の夜間運転停止
＜冬期（WARM BIZ）＞
・空調温度設定の集中管理［室温20℃設定］
・暖かい服装の推奨

パイオニアグループ環境活動レポート（2014年版）より

## 環境保全活動　－廃棄物－

### リサイクルセンターでの解体分別

本社サイトでは、開発・設計業務に伴い製品の試作品が多数製作されます。これらが不用になったときは、事業所内の専属メンバー（リサイクルセンター）により解体され、原材料ごとに分別を行ない、有価物として業者に引き渡されています。このようにして積極的に廃棄物のリサイクルを推進しています。

### 生ゴミ（コーヒー豆）の堆肥化

本社サイトでは、生ゴミを削減する目的で、食堂から排出される使用済みコーヒー豆の堆肥化を始めました。これにより、事業所からの毎月の生ごみ排出を約0.5トン削減できます。このように、廃棄物削減につながる活動を行っています。

# 5. 2013年度 環境会計

パイオニア(株)は、環境省発行の『環境会計ガイドブック2005年版』をもとに、当社独自の「パイオニア環境会計ガイドライン」を制定し、1999年以降、グループ各社で集計を行っています。

［単位：千円］

| 2013年度 環境コスト | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 分類 | | 内容 | 設備投資 | 費用額 |
| 1 | 事業エリア内コスト | | 3,500 | 7,843 |
| 内訳 | 1-1.公害防止コスト | なし | 0 | 0 |
| | 1-2.地球環境保全コスト | 生産冷却水ポンプのインバーター化 | 3,500 | 700 |
| | 1-3.資源循環コスト | 産業および一般廃棄物処理委託費用 | 0 | 7,143 |
| 2 | 上・下流コスト | なし | 0 | 0 |
| 3 | 管理活動コスト | ISO14001認証費用、運営費、環境管理部門人件費等 | 0 | 40,077 |
| 4 | 研究開発コスト | 地球温暖化対策に寄与する新商品の研究開発費用等 | 53,707 | 424,579 |
| 5 | 社会活動コスト | なし | 0 | 0 |
| 6 | 環境損傷コスト | なし | 0 | 0 |
| | | 合計 | 57,207 | 472,499 |

| 2013年度 環境効果 | | | |
|---|---|---|---|
| 分類 | | 内容 | 効果額 |
| 1 | 環境保全による効果（省エネ、公害防止など） | 生産冷却水ポンプのインバーター化による電力削減 | 5,100 |
| 2 | 資源循環による効果(省資源、リサイクル、廃棄物処理など) | 有価物売却益(リサイクルセンターにおける分解分別、全社員による分別の徹底) | 4,244 |
| 3 | 上下流効果金額（調達、生産、物流、グリーン購入） | なし | 0 |
| 4 | その他の効果(1.2.3.以外の効果) | なし | 0 |
| | | 合計 | 9,344 |

# 6. 社内環境教育、訓練

## （1）緊急事態対応訓練（非常用発電機）

2013年5月、本社サイトで緊急事態対応訓練を行いました。非常用発電機の試運転・運転状況のチェック・重油の漏洩など異常発生時の対応訓練・非常用発電機への切替訓練などを行いました。手順書の改善すべき点が見つかり、マニュアルの改正を行いました。

非常用発電機と重油タンク（左）

試運転・運転状況のチェック

緊急時対応の手順確認

## （2）廃棄物処理業者実地確認

本社サイトで契約している廃棄物処理業者への現場視察を実施しました。これは廃棄物処理法で（努めなければならないと）規定されている事項で、2013年度は、5社について実施しました。本社サイトから排出される廃棄物がどのように処分（リサイクル）されるか、法律に則った適正な処理がなされているか、現場の整理整頓状態はどうか、など、パイオニア独自のチェックリストに基づき確認を行っています。＊写真は実地確認の様子

## （3）e-ラーニングによる従業員環境教育

本社サイトの従業員全員に対して、パソコンを利用した（e-ラーニング）環境教育を実施しました。2013年度は、「環境に関する国連会議の歴史について」をテーマとした教育を実施しました。教育は、テキストを読み、理解度テストに合格することで受講修了となります。受講率95%以上を達成し、従業員の環境意識向上を図ることが出来ました。＊資料はe-ラーニングテキストの一部

# 7. コミュニケーション、社会貢献

## （1）ごみゼロ運動（近隣清掃活動）

本社サイトでは事業所近隣の通勤路の清掃活動を年間2回実施（2013年度は新入社員の研修としても行ったため3回実施）しています。特に年度初めの第1回目は、「パイオニアゴミゼロ1stクォーター」と銘打ったパイオニアグループ全体の清掃活動の一環として実施しており、例年、清掃範囲をJR新川崎駅・JR矢向駅まで拡大しています。2013年度は年間延べ150名が本活動に参加し、タバコの吸殻、菓子袋、空き缶、空き瓶、ペットボトルなどのゴミを年間で50.2kg回収しました。

*写真はごみゼロ運動実施の様子

## （2）夏休み自由研究週間に参加

パイオニアは2014年8月17日、川崎市地球温暖化防止活動センター（CCかわさき交流コーナー）主催の「夏休み自由研究週間 実験・工作教室」に講師として参加しました。小学生とその保護者の方へ、音の原理やスピーカーの構造について解説したり、子どもたちが製作した手作りの紙皿スピーカーで音をならし、エコな音の体験をしてもらいました。この催しは、子どもたちの自由研究のお手伝いや学習相談に加えて、バスによる見学ツアーや工作や実験をしながら、環境や科学について楽しく学べる体験型のイベントで、幸区に所在する企業・NPO・市民活動団体・行政など多数参加しました。

*写真は工作教室実施の様子

## （3）パイオニアの森

パイオニアは定期的に、埼玉県鎌北湖付近の「パイオニアの森」で森林保全活動を行っています。2014年10月の第15回の活動には、社員とその家族合計28名が参加し、午前と午後両方を使って、樹木の枝打ちを中心に作業を行いました。当森林保全活動は埼玉県の森林$CO_2$吸収量認証制度において、2013年度$CO_2$吸収量39.6トン-$CO_2$/年と認証されています。

枝打ち作業の様子

本報告書に関するご意見・お問合せ先

パイオニア株式会社

**人事総務部 総務部 社会環境推進室**

**〒212-0031 神奈川県川崎市幸区新小倉１－１**
**TEL 044-580-3211（代表）**

環境活動ホームページ
http://pioneer.jp/corp/environment/
環境活動についてのお問い合わせ
https://www3.pioneer.co.jp/support/contact/environment.html

発行：2014年12月
© Pioneer Corporation 2014